

第3回定例研究会

「だしの世界から見えてきて日本人の食の嗜好」

第3回定例研究会は、元 味の素 食の文化センター専務理事の河野一世先生をお招きして、「だしの世界から見えてきて日本人の食の嗜好」と題して講演いただきました。河野一世先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

神奈川県立横須賀高校卒、1969 年お茶の水女子大学家政学部（現・生活科学部）食物学科卒、味の素株式会社中央研究所入社。83 年本社広報室へ異動し、主に食と科学中心にマスコミ対応業務を担当。

99 年財団法人味の素の文化センターに異動。

2002 年同センター専務理事。同年お茶の水女子大学人間文化研究科環境人間科学専攻過程に入学、2005 年学位取得（学術博士）。

現在、大妻女子大学、共立女子短期大学非常勤講師。専門は食文化、調理科学。

著書に『だしの秘密』（建帛社）、『調理とおいしさの科学』（共著、朝倉書店）、『味の秘密をさぐる』（共著、丸善出版）、『フードデザイン 21』（共著、サイエンスフォーラム）、『化学ってそういうこと！』（共著、化学同人）など。

講師

河野 一世 氏（元 味の素の文化センター専務理事）

テーマ

だしの世界から見えてきた日本人の食の嗜好

講演日

2010 年 6 月 12 日（土） 14:00 ～ 17:00 受付開始 13:30 ～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

